



今日からあなたも投稿者。

投稿希望者はこちら!

可児市ふるさと広報大使
塚本明里さん

全国初、市民行政一体型フェイスブック「かにすき」では、市民と市職員が投稿者となって市の魅力を発信しています。
可児を愛するあなた。投稿者としてイベントや子育て、おすすめスポットなど、可児の情報をみんなに発信しませんか。

かにすき 検索

図書館だより

図書館本館 (広見) ☎0111 5120
帷子分館 ☎0111 8530
桜ヶ丘分館 ☎0111 3473

開館時間 本館 火～金 午前10時～午後7時
土日祝 午前10時～午後5時
帷子・桜ヶ丘分館 午前9時～午後5時

休館日 本館・分館共通
毎週月曜日、29日(金)

※帷子分館は、17日(日)は休館します。

展示のご案内(本館)

「こどもの読書週間特集 読みくらべ絵本『つるのおんがえし』展(岐阜県図書館)」
期間 5月17日(日)まで
「つるのおんがえし」は、おじいさんに助けられた鶴が恩返しにやってくるという有名な日本の昔話ですが、様々な描かれ方をしています。岐阜県図書館の児童図書研究室からお借りして展示します。「たばこについて知っていますか?」展(健康増進課)

期間 5月19日(火)～6月7日(日)
毎年5月31日は「世界禁煙デー」です。また、厚生労働省では世界禁煙デーに始まる1週間を「禁煙週間」とし、たばこ健康問題について普及啓発を行います。たばこの害を知り、禁煙について考えてみませんか?

新しく入った本

「子どもと本」 松岡享子 / 著 (岩波書店)
「手のひらの幻獣」 三崎壘記 / 著 (集英社)
「世界の教科書シリーズ」 (明石書店)

「だれにも話さなかった祖父のこと」 マイケル・モーパーゴ / 文 ジェマ・オチャラン / 絵 片岡しのぶ / 訳 (あすなろ書房)
「(刑務所)で盲導犬を育てる」 大塚明子 / 著 (岩崎書店)
「いちねんせいになったから!」 ぐすのきしげのり / 作 田中六六 / 絵 (講談社)

かにっ子タイム

毎週土曜日午後2時から行います。
○5月30日(土)は、ストーリーテリングをおこないます。
場所 図書館本館3階 会議室
語り手 おはなしの泉
ストーリーテリングは、耳からの読書です。絵本や紙芝居を使わず、お話を語ります。ぜひ来てください!

いきいきマイタウン 番組案内

5/2(土)～8(金) ようこそ!市長室へ	5/23(土)～29(金) 好きなのはカニダー
5/9(土)～15(金) 花フェスタ2015ぎふ	5/30(土)～6/5(金) 文化財ぶらり旅⑧
5/16(土)～22(金) 簡単!山ごはんレシピ Kルートで行こう!	放送時刻 月～金曜日 7:00・12:00・17:00・19:00・22:00 土・日曜日 7:00・12:00・19:00・21:00

※番組の内容や時間は変更することがあります。
※デジタル12chのデータ放送で、市政情報も発信しています。

「ようこそ!市長室へ」
など可児市の番組を
ネットで配信中!

YouTube

右のコードから可児市のチャンネルへ

FMららがスマホ専用アプリでも聞けます

インターネット配信を使って、FMららの番組が聞けるようになりました。やり方は簡単、インターネットで「FM++(エフエム プラプラ)」と検索し、「FMらら」を選択するだけ。
地域や防災情報も盛りだくさんのFMららを、スマホで聞いてみましょう。

もう一度確認を! 災害時の情報収集

すぐメールかに 登録方法はコチラ

あらかじめ登録した携帯電話などのメールアドレスに、災害や気象に関する情報を配信します。そのほか、暮らしに役立つ市政情報も配信しています。

「防災無線」電話で確認サービス
専用電話番号 ☎0574 ②1548
防災無線で放送された内容を放送後に電話で確認することができます。
※通話料金が必要です。
※防災無線放送後、24時間経過すると消去されます。

新緑に誘われてみませんか

キラッと輝く新緑が、私たちを戸外へと誘ってくれる季節になりました。折角なので、思いっきり自然に誘われてみましょう!

市内では、多くのボランティアの皆さんが、里山や故郷の川を守ってくれています。その一つ、久々利我田の森では、伝説を秘めた森の散策に加えて、炭焼き窯を使ったピザ焼き体験、田んぼピオトープでの



大賀ハス

ヒメコウホネ

い。東帷子の薬王寺では、これから夏にかけて、希少植物の大賀ハスやヒメコウホネの愛らしい花を楽しむことができます。
気軽に山歩きが楽しめる鳩吹山は、日差しが本格化する前のこの時期が最適です。山頂からは、とうとうと流れる木曾川が眼下に広がり、遠くに御嶽、白山、南アルプスまで眺めることができます。多くの登



鳩吹山からの展望



ようこそ!市長室へ

24

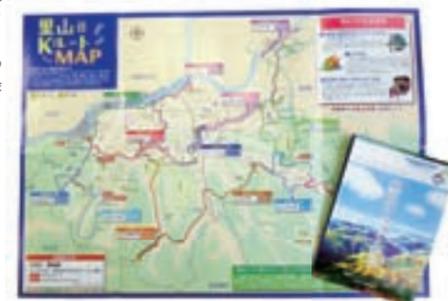


山ルートがあり、健脚の方は犬山市の桃太郎神社や、寂光院まで青々とした若葉の中を歩くことができます。可児川下流域自然公園や木曾川左岸の遊歩道を、マイナスイオンと小鳥のさえずりを浴びながら散策するのも、楽しいです。

東帷子のやすらぎの森は、6月から7月にかけて、見事なピンクや紫のガクアジサイが楽しめます。全長140mのローラー滑り台はちびっ子に大人気。家族で汗をかけた後は、バーベキュー広場へ。青空の下での食事は格別ですよ。
案内看板や歩行距離表示も設置され、バーベキュー広場も利用しやすくなりましたよ。

5月16日から開幕する「花フェスタ2015ぎふ」は、10年ぶりの大きなイベントです。30日からは可児市ウィークもスタートします。ぜひ、

可児の自然のほんの一部をご紹介しましたが、いずれもKルートで楽しめます。自然に誘われて、13のモデルコース全82・4kmを踏破してみたいかがでしょう。里山ボランティアの紹介も載っている「里山プラスKルートMAP」を参考にしてチャレンジしてみてください。マップは市役所や各連絡所で見られます。
子どもたちが生き物と触れ合い、生き生きと過ごすことのできる自然が身近にあること、それが「住みごころ一番・可児」の魅力の一つです。



里山+KルートMAP

可児市長 三浦成伸